

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	地域内循環支援事業	担当者	地域経営課 商工観光政策係
-------	-----------	-----	---------------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	3. 地域を支える力強い産業の村／産業の振興／商工業の振興		
関連する主な計画等			
根拠法			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者	村内商工業者		
事業開始年	H27	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期
			H27 <input type="checkbox"/> 終期未定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	村内の商工会員事業所や、店舗で使用できるプレミアム付き商品券を販売することにより、消費者の消費意欲の喚起と、村内商工業者の振興を図ると共に、村の活性化に寄与する。					
具体的取組	村内の店舗等で使用できる商品券の発行 1冊12,000円分を10,000円で3,000冊販売					
実績・効果	先行販売、当日販売とも、1日で完売した。 アンケートをとるなかで、おおよそ24,991千円の消費喚起額があった。商品券の支払に併せて、4,450千円の現金支出があった。					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	地域内循環支援事業補助金	6,500				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)			6,500		
	うち一般財源					
	うち補助金			6,500		
	うち個人負担					
従事職員 (人)	正規職員					
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	ニーズは非常に高い	B
	手段、成果は妥当か	a	実績があり、妥当	
	対象者の設定は妥当か	b	福祉的配慮を望む声があった	
	村の関与は妥当か	a	妥当である	
有効性	期待された効果が得られたか	効果は十分にあった		A
効率性	コストの削減に努めたか	a	デザインを自前でやるなどコスト削減に努めた	A
	効率性を高める工夫はされたか	a		
公平性	受益者負担は適切か	一定の負担はある		A
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	終了
課題	希望する村内全ての店舗で使用できなかった。 販売限度額、販売方法、福祉的配慮について検討が必要。
今後の取り組み	商工会と連携し、使いやすい商品券の発行を検討。

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	プレミアム旅行券事業	担当者	地域経営課商工観光政策係
-------	------------	-----	--------------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	3. 地域を支える力強い産業の村／産業の振興／観光業の振興
関連する主な計画等	
根拠法	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	観光客
事業開始年	H27 <input type="checkbox"/> 時期不明
事業の終期	H27 <input type="checkbox"/> 終期未定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	村内の旅館等で使用できる旅行クーポンの発行や、団体旅行に対する補助することにより、観光客の消費意欲の喚起と、村内観光業者の振興を図ると共に、村の活性化に寄与する。					
具体的取組	個人客向けクーポンの発行。1人 2,000円と3,000円。 団体客向けクーポンの発行。1団体30,000円。 この事業に伴う広告宣伝費。					
実績・効果	事業を実施したことにより宿泊者数が8,000人ほど増加した。 アンケートの23%の方が、旅行券があることでこの地域を選んでいる。					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	プレミアム旅行券委託	10,347				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)			10,347		
	うち一般財源					
	うち補助金			10,347		
	うち個人負担					
従事職員 (人)	正規職員					
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	b	観光客からのニーズは高い	B
	手段、成果は妥当か	a	実績が上がっており、妥当である	
	対象者の設定は妥当か	a	妥当である	
	村の関与は妥当か	a	妥当である	
有効性	期待された効果が得られたか	集客に効果があった	A	
効率性	コストの削減に努めたか	a	タイムリーに実施できた	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	個人向け、団体向け等工夫をおこなった	
公平性	受益者負担は適切か	宿泊費の助成であり、適切である。	A	
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	終了
課題	国の補助金があったため実施できた。村の一般財源では支出が難しい。
今後の取り組み	村単独では実施は難しい。

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	地域資源を活用した地域振興事業	担当者	地域経営課商工観光政策係
-------	-----------------	-----	--------------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	3. 地域を支える力強い産業の村／産業の振興／観光業の振興		
関連する主な計画等	まち・ひと・しごと創生総合戦略		
根拠法			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者	観光客、定住者		
事業開始年	H27 <input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	H27 <input type="checkbox"/> 終期未定

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	環境省認定の全国星空継続観察第1位の阿智村の星空を地域活性及び観光活性に活かし広く誘客促進することにより村内への回遊、しいては定住人口の増加を図る。					
具体的取組	星の村阿智村をPRするため、PVの作成、広告宣伝、各種タイアップ事業、定住促進のパンフレットの作成等。					
実績・効果	各種メディアへの露出が多くなり、阿智村の知名度があがった。 入り込み客、ナイトツアーの来場者が増加した。					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	補助金	25,198				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)			25,198		
	うち一般財源					
	うち補助金			25,198		
	うち個人負担					
	従事職員 (人)	正規職員				
	臨時職員					

③重要業績評価指標(KPI)

指標名	指標値	実績
スタービレッジ来場者数	50%増(49,500人)	69,300人
観光入込客数	125万8千人	130万人

④評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	b	観光客からのニーズは高い	B
	手段、成果は妥当か	a	効果的である	
	対象者の設定は妥当か	a	妥当である	
	村の関与は妥当か	a	協議会が中心となっており妥当である	
有効性	期待された効果が得られたか		入り込みが増えており、非常に効果があった	A
効率性	コストの削減に努めたか	c	コスト削減に努めているが、効果として現れにくい	D
	効率性を高める工夫はされたか	d	最小の経費で最大の効果を求めている	
公平性	受益者負担は適切か		自己資金も使用している	B
総合評価	B			

⑤改善(ACTION)

事業の方向性	終了
課題	交付金がなくなることによって、今後の展開が難しい。
今後の取り組み	独立採算で運営できることの検討が必要。

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	阿智村総合戦略策定事業	担当者	協働活動推進課	係
-------	-------------	-----	---------	---

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	第5次総合計画の検証を含め、第6次総合計画、次期地区計画策定の足がかり			
関連する主な計画等	国の「長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」			
根拠法	まち・ひと・しごと創生法			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	全村民			
事業開始年	H27	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	H27 <input type="checkbox"/> 終期未定

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	まち・ひと・しごと創生法第10条の規定により、各市町村において平成27年度中に地方人口ビジョン及び地方版総合戦略の策定が求められたことから、国による「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用し、阿智村が持続するのに必要な人口目標を定め、そのために必要な戦略を策定する。					
具体的取組	<p>全国と同様に阿智村においても人口減少が進行しており、誰もが暮らしやすい阿智村をつくり、村民みんなが幸せに暮らしていくために、庁内横断によるプロジェクトチームを編成し、同チームを軸に人口減少対策や地方創生に向けた取組みを検討し、作業を進めた。</p> <p>策定にあたっては住民の意見を聞くことを重視し、8自治会・11団体との懇談会を実施した。また、若者状態調査を実施して、阿智村に暮らす若者の生活ぶりや地域に対する思いを聴取した。第5次総合計画後期基本計画の中間検証に全職員が取組み、さらには産官学関係者を含む計画審議会、議会において計画案の審議を行い、これらの意見をもとに本計画を起草した。</p>					
実績・効果	<p>・星ふるさと阿智村人口ビジョン(対象期間:平成57年(2045年)まで) 総合戦略を策定する上での基本的視点を示すものとして、人口の現状分析、将来人口の推計と分析、人口減少に向けた現状と課題を整理し、人口に関して目指すべき将来の方向性を提示する「人口ビジョン」を策定。</p> <p>・星ふるさと阿智村まち・ひと・しごと創生総合戦略(対象期間:平成27年度(2015年度)から平成31年度(2019年度)まで) 人口ビジョンを踏まえ、平成27～31年度の5カ年戦略を、目標や施策の基本的方向、具体的施策など人口減少の抑制と人口減少を踏まえた阿智村の維持・活性化に向けた政策の構築を示す「総合戦略」として策定。</p>					
歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	委員報酬	302	臨時職員賃金	707	策定事業謝礼	637
	費用弁償	17	人口推計委託料	864	戦略印刷製本費	760
	消耗品費	113				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)			3,400		
	うち一般財源					
	うち補助金			3,400		
	うち個人負担					
	従事職員(人)	正規職員			0.3	
	臨時職員			1		

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	村民一人ひとりがあらためて村の将来を考える機会となった。	A
	手段、成果は妥当か	a	人口推計結果報告や5次総後期計画の検証などにより目的に添う計画策定になった。	
	対象者の設定は妥当か	a	村民の生活維持を図る計画である。	
	村の関与は妥当か	a	まちひとしごと創生法により自治体毎に地方版総合戦略策定が必要なため。	
有効性	期待された効果が得られたか		総合戦略策定により子育て環境の整備や経済活性化を図り雇用関係を充実させるための取組みが強化された計画が策定された。	A
効率性	コストの削減に努めたか	a	民間コンサルティング企業等に委託することなく必要最低限の経費にとどめた。	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	8自治会・11団体との懇談会を開催した。	
公平性	受益者負担は適切か		全ての村民を対象とした計画であり、また、直接的な費用負担はない。	A
総合評価	A			

④改善(ACTION)

事業の方向性	終了
課題	30年後、現在人口の80%に相当する人口目標の達成に、基本的な視点を基礎に効果的・効率的な推進に努める。
今後の取り組み	総合戦略の4つの基本目標に係る数値目標や各施策の重要業績評価指標(KPI)の達成状況、事業の実施状況をもとに、関係部局が施策や事業の効果を検証し、計画審議会、議会からの意見聴取を踏まえ必要な改善などを実施していく。